

医心 伝心

スギ花粉飛散が近づきました

県医理事 河合 晃充

さて、年も明けて平成27年となりました。スギ花粉の飛散開始が近づいてきています。スギの花
粉飛散数は前年の夏の気候に大きな影響を受けます。昨年11月時点で花粉飛散予測では、7月の日照時間が平年より長かったこと、降水量もさほど多くなかったこと、昨年花粉飛散数が平年並で多くはなかったことから、平年より多くの飛散が予想されていました。しかし、8月に入り一転して日照時間が短く、降水量も多くなり、雄花の着花に適さない気候となったため当初の予想より下方修正されています。県森林研究所が11月下旬に行った県内18箇所で行ったスギ雄花の着花量調査の結果から、本年のスギ花粉飛散数は、昨年
に続き平年並みで、平野部で2700個程度と昨年の90%程度と発表されています。

スギ花粉症に対する対策、治療としては、本格飛散の約2週間前ぐらいから抗アレルギー剤の使用を開始する初期治療と呼ばれる治療法の有効性が確認されてきています。どのような薬剤を使用すべきかは、鼻アレルギー診療ガイドラインなどを参考にさせていただけると良いと思いますが、実際には、いつが本格飛散開始2週間前なのか、これが問題となります。

スギの飛散開始日は1月と2月の気温に大きく左右されます。1月からの積算温度がある温度に達すると開花し、飛散が開始されます。このため、1月と2月の気温が低ければ開花は遅れ、気温が

高ければ開花は早まります。今後の気温の経過に注意していかなければなりません。医報とやまの花粉症情報や県森林研究所からも随時、飛散開始予想日の発表がありますが、実際の予想は難しいのが現実です。そこで活かしていただきたいのが、昨年県内各地に計画配置しているリアルタイム花粉測定機器ポールンロボです。このような測定機器では、本格飛散開始の少し前からスギ花粉の飛散が観測されており、これらの測定結果を見ることにより、本格飛散が近づいていることがわかります。昨年の計測結果を検討したところ、測定値の精度は従来の測定方法と遜色ない結果が得られており、十分参考になるものと思われます。

リアルタイムな測定結果は県医師会ホームページのトップページより、誰でも簡単に閲覧出来るようにしてありますので、本格飛散の時期だけでなく、お近くの地域での飛散開始にむけての情報収集にも使っていただけるものと思っております。今年度は2月はじめには県内各地12箇所に設置が終了し、観測が開始できる予定です。是非、ご利用下さい。